

第13課「霊の結ぶ実—クリスチャンの品性」

暗唱聖句コロサイ1：27の「あなたがたのうちに」に注目して下さい。イエスさまが内住していれば、私達は彼に似た者となります。それが唯一クリスチャンの品性を実現する道です。今期の締めくくりは、キリストに似た者となる秘訣とそれを妨げるものは何かという視点で学んでみましょう。

日曜日「まず神の国を求めよ」

キリストの内住を妨げるもの、その1。神の国、神の御心よりも自分の望みを優先させること。本当に大事なものは何でしょうか。第一のものを第一にしているでしょうか。

月曜日「その他の霊の結ぶ実」

正義、信心、信仰、愛、忍耐、柔和、希望、徳、知識、自制、兄弟愛... これらの実は全てキリストの生涯に現されたものです。

火曜日「信仰と忍耐」

キリストの内住を妨げるもの、その2。まじめにやっているのにイエスに似ていない。そこで自分の限界を感じて失望する。その3。中途半端な自己吟味。

「キリストは品性を完成することがやさしいことであるとは、保証しておられない。高潔で円満な品性というものは、親から遺伝的にうけつぐものではない。また、偶然、転がり込むものでもない。高潔な品性は、キリストの功績と恵みによって、人々が努力することによって得られるものである。神は、タラント、すなわち、精神の能力をお与えになる。そして、わたしたちが、品性を形成するのである。品性は、自己とのきびしい戦いによって形成される。生来の傾向に対しては、争闘に次ぐ争闘をもって当たらなければならない。わたしたちは、きびしく自己を批判して、一つとして汚点を取り除かないで放っておくようなことをしてはならない。わたしは、自分の品性の欠点を直すことはできない、などとだれも言うてはならない。そう思い込んでしまえば、決して永遠の生命を受けることはできない。不可能であるということは、自分の心の中で、そう思ってしまうからである。勝とうと思わなければ、勝つことはできない。心が清めを受けずに汚れていることと、神の支配に喜んで従わないことから本当に困難なことが生じるのである。」

「豊かな人生の秘訣」224, 225頁 下線付加

水曜日「世の挑戦」

キリストの内住を妨げるもの、その4。世と世にあるものを愛すること。世俗傾向を合理化、正当化すること。

木曜日「豊かに実を結ぶ」ヨハネ15:8

キリストの内住を妨げるもの、その5。キリストにつながらない、つながってもすぐに離れる。

では、つながる方法は？ ①聖書の学び、②祈り、③正しい思想、④証し。

周囲の状況がどうであろうと、これらは自分の選択で始められることです。

イエスにつながっているとはどういう状態を指すのか？ これらを通して霊性を高める意識、努力を持続させるならば、つながりは保たれ豊かに実を結びます。

「品性を評価するにあたって、神と人との標準は、なんと大きな相違があることであろう。世の中や親しい友人さえも知らない、家庭内や心の中の誘惑、数々の誘惑に打ち勝ったことなどを神はごらんになる。自己の弱さを知って、謙遜にしていること、一つの悪い思いでさえ、心から悔い改めることなどを、神はごらんになる。また、神は、ご用のために心から奉仕する人をごらんになる。自己との激しい戦い、そして遂に、その戦いに勝利したことなども注目なされるのである。」

「豊かな人生の秘訣」302頁